令和６年度 事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人ＯＷＳ

１．事業の成果

(1) 自然体験学習事業（海の子プロジェクト）

子どもを対象とした海辺の自然体験学習プログラム「ネイチャースクール」を神奈川県三浦市の江奈湾の磯、干潟、砂浜において、3回実施し、合計42名の児童（一部親子）と教員2名が参加した。生きもの観察では、身近な海辺の自然と多様な生き物に触れ合い、学びを深めた。また、海洋ごみの実態を解説したミニ講座の後、海岸漂着ごみの回収活動を体験した。

a. 5月11日「磯と干潟の生きもの観察＆ごみ回収体験」
参加者：13名　三浦市内の小学校5校・3年～6年生と教員

b. 5月25日「磯の生きもの観察＆ごみ回収体験」
参加者：8名　活動協力法人の家族・小学生3年～6年生親子

c. 9月7日「磯浜の生きもの観察＆ごみ回収体験」
参加者：21名　活動協力法人の家族・小学生3年～6年生親子

(2) 普及啓発事業

a. 会報「季刊エブオブ」を4回発行し、以下の特集記事等を掲載し、合計6,000部を配布した。

①第93号 5月20日発行：「地殻変動を生き延びてきた生き物たち」
執筆：[redacted]

②第94号 8月20日発行：「温暖化による海流散布植物の分布北上」
執筆：[redacted]

③第95号 11月20日発行：「空と海をつなぐ課題:マグロはえ縄漁業の海鳥混獲問題と最新の取り組み」
執筆：[redacted]
サブ特集：「なぜ人工芝を使ってはいけないの？」
執筆：[redacted]

④第96号 2月20日発行：「人はなぜ海を見続けるのか～巨大防潮堤を超える民俗～」
執筆：[redacted]
サブ特集：OWS活動ピックアップ～干潟保全プロジェクト、サンゴ調査プロジェクト～

b. 江奈湾干潟において、干潟保全のための観察会を5回実施し、延べ102名が参加した。また、観察会で出現したベントス種はWEB図鑑に掲載して公開した。

c. 絶滅危惧海鳥類の保全を普及啓発する「世界アルバトロスデー＆シーバードウィーク2024」実行委員会（環境保護6団体で構成）の事務局を担当した。6月16日には、都立東京港野鳥公園において7名の講演者による対面及びオンラインによる講演会を実施し、117名が参加した。また、6月15日～7月7日まで実施した企画展には1,100名を越える来場者が鑑賞した。

d. 「海洋ごみプロジェクト2024」として、以下の活動を含む23項目のイベントを企画し、海洋ごみの削減に関する啓発活動を実施した。

①海洋ごみ写真資料展を3ヵ所（東京2ヵ所、北海道1ヵ所）で開催し、延べ3,884名が鑑賞した。

②NPO・NGO14団体で構成する「減プラスチック社会を実現するNGOネットワーク」による人工芝生抑制を目的とした人工芝生化を対象とした助成金の見直しを求める要望書を文科大臣に提出した。併せて、衆参議員会館での陳情（8月～9月）と立憲民主党へのヒアリング（2月）を実施した。

③各イベントにおいて、海洋ごみ削減の啓発チラシを800枚配布した。また、ダイバー向けマナーグッズ「エコメッシュ」（ダイビング中、水中で見つけたプラごみ等を回収するためのメッシュバッ

ク）を8名に頒布した。

(3) 調査研究事業(干潟保全プロジェクト・サンゴ調査プロジェクト)

a. 東京都立東京港野鳥公園において、5月7日、日本野鳥の会との共催により、12名が参加して干潟ベントス調査を実施し、90種の出現種を記録した。

d. 江奈湾干潟において、6月8日、研究者や地元学校教員ら27名が参加し、第12回干潟ベントス調査を実施し、26種を越える新規出現種を確認した。また、昨年に続き、これまでの調査成果をまとめ、日本ベントス学会誌79巻（2024年12月25日発行）に「三浦半島江奈湾の底生動物相」として論文発表した。

c. 和歌山県那智勝浦町のゆかし潟干潟において、7月6日～7日、17名が参加して8回目の干潟ベントス調査を実施した。調査では、和歌山県の絶滅種とされてきたオカミミガイを含む27種の新規出現種を確認した。出現種はWEB図鑑に掲載し公開した。また、ゆかし潟で記録した絶滅危惧種61種を掲載した多様性保全啓発のためのリーフレットを地元学校、環境省ビジターセンター、教育委員会等の協力を得て、1,800部を配布した。

d. [redacted]との連携により、10月1日～2日、山形県鶴岡市の荒崎東海岸において、8名が参加して造礁サンゴの探察調査を実施した。調査の結果、キクメイシモドキ9群体を確認し、日本サンゴ礁学会において短報を発表した。

e. 国立環境研究所との連携により、全国10海域での「造礁サンゴモニタリング調査及び魚類調査」を実施し延べ39名が参加した。
①10月09日　静岡県西伊豆町安良里
②10月10日　静岡県西伊豆町田子
③10月17日　和歌山県串本町
④10月30日　高知県土佐清水市竜串
⑤11月13日　長崎県壱岐市郷ノ浦
⑥11月15日　長崎県対馬市志多浦
⑦12月10日～11日　長崎県五島市福江
⑧01月22日　熊本県天草市牛深
⑨01月27日　千葉県館山市坂田
⑩01月28日　千葉県館山市沖ノ島

f. [redacted]との連携により、3月24日、静岡県東伊豆町北川において、海底に湧出する温泉とサンゴ群体および魚類の挙動を調べる潜水調査を7名が参加して実施した。OWSは撮影と魚類調査を担当して実施した。

(4) 環境保全事業(干潟保全プロジェクト・海洋ごみプロジェクト)

a. 江奈湾干潟及び城ヶ島でのごみ回収活動を6回実施し、延べ113名が参加して1,015kg超の漂着ごみと投棄ごみを回収した。
①05月11日　三浦市・江奈湾東干潟　47.76kg
②05月25日　三浦市・江奈湾東干潟　491.64kg
③07月21日　三浦市・城ケ島南海岸　15kg
④09月07日　三浦市・江奈湾東干潟　201,84kg
⑤02月15日　三浦市・江奈湾西干潟　100,77kg
⑥03月15日　三浦市・江奈湾東干潟　158,43

b. 長崎県対馬市の世界最北のサンゴ礁において、11月15日～16日、7名が参加して、3回目の水中ごみ回収活動を実施した。今回、隣接する干潟の漂着ごみも併せて約6ｔを回収した。

2．事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【9,793】千円）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
自然体験学習事業	子ども対象自然体験学習プログラム「ネイチャースクール」の開催	5月～9月	神奈川	6名	市民・児童42名	801
普及啓発事業	会報 「季刊 エブオブ」発行および配布	年4回	全国	7名	市民/1,500人	1,967
	江奈湾干潟観察会の開催	4月～3月	神奈川	6名	市民/102名	
	世界アルバトロスデー＆シーバードウィーク実行委員会事務局運営・講演会等の実施、絶滅危惧海鳥類のWebとリーフレットによる普及啓発	4月～3月	東京	3名	講演/117名 啓発/1,000人	
	海洋ごみ写真資料展の開催	7月～8月	東京&北海道	2名	市民/3,884名	
	減プラスチック社会を実現するNGOネットワークによる文科省、衆参議員会館での陳情	7月～2月	東京	2名	議員・メディア/100名	
	海洋ごみ抑制のためのチラシ配布、ダイバー向けマナーグッズ・エコメッシュの頒布	4月～8月	全国	2名	市民/800名	
調査研究事業	東京港野鳥公園干潟ベントス調査	5月	東京	4名	市民・研究者教員/50名	4,858
	江奈湾干潟ベントス調査と論文発表	6月	神奈川	4名	市民・研究者教員/150名	
	ゆかし潟干潟ベントス調査	7月	和歌山	6名	市民・研究者/150名	
	山形県鶴岡造礁サンゴ探索調査	10月	山形	4名	市民・研究者/50名	
	造礁サンゴモニタリング調査、魚類調査	10月～2月	全国	4名	市民・研究者/100名	
	静岡県北川での造礁サンゴ・魚類調査	3月	静岡	4名	市民・研究者/20名	
環境保全協力事業	江奈湾干潟および城ヶ島南海岸でのごみ回収	4月～3月	神奈川	11名	市民・自治体・学校/500名	2,166
	長崎県対馬市でのサンゴ礁周辺ごみ回収	11月	長崎	5名	市民・自治体学校/300名	

(2) その他の事業　なし

令和6年度 活動計算書

令和6年 4月1日 から 令和7年 3月31日 まで

特定非営利活動法人OWS

科 目	金 額 (単位:円)		
Ⅰ 経常収益			
1 受取会費			
正会員会費	459,000		
個人賛助会員会費	672,000		
法人賛助会員会費	50,000	1,181,000	
2 事業収益			
環境教育事業	60,000		
普及啓発事業	404,210		
調査研究事業	5,077,365		
環境保全事業	92,950	5,634,525	
3 受取寄附金			
受取寄附金	8,374,232	8,374,232	
4 その他収益			
受取利息	3,208	3,208	
経常収益計(A)			15,192,965
Ⅱ 経常費用			
1 事業費			
環境教育事業	801,743		
普及啓発事業	1,967,293		
調査研究事業	4,858,650		
環境保全事業	2,166,140		
事業費計		9,793,826	
2 管理費			
給料手当	1,350,000		
法定福利費	129,100		
発送配達費	147,057		
通信費	93,051		
水道光熱費	65,347		
消耗品費	134,664		
地代家賃	1,133,000		
保険料	46,000		
租税公課	88,050		
諸会費	10,000		
新聞図書費	1,349		
支払手数料	223,500		
旅費交通費	99,430		
通勤費	26,375		
会議費	62,439		
雑費	67,830		
支払報酬料	55,000		
修繕費	142,857		
管理費計		3,875,049	
経常費用計(B)			13,668,875
税引前当期経常増減額(A)－(B)			1,524,090
前期繰越正味財産額			9,076,586
次期繰越収支差額			10,600,676

令和6年度 貸借対照表

令和7年 3月31日 現在

特定非営利活動法人OWS

科目	金額（単位:円）		
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
立替金	60,000		
前払費用	90,000		
現金及び預金	5,813,008		
未収入金	4,827,365		
流動資産合計		10,790,373	
資産合計			10,790,373
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	63,943		
預り金	125,754		
流動負債合計		189,697	
負債合計			189,697
Ⅲ 正味財産の部			
基本金		9,076,586	
当期正味財産増加額		1,524,090	
正味財産合計			10,600,676
負債及び正味財産合計			10,790,373

令和6年度 財産目録

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人OWS

科目・摘要		金額(単位:円)		
Ⅰ 資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金		16,063		
普通預金 三菱UFJ銀行 新宿新都心支店		4,249,144		
普通預金 GMOあおぞら銀行 法人営業部		1,409,039		
郵便貯金 代々木駅前通り郵便局		138,762		
立替金		60,000		
前払費用		90,000		
未収入金		4,827,365		
	流動資産合計		10,790,373	
	資産合計			10,790,373
Ⅱ 負債の部				
1 流動負債				
未払金		63,943		
預り金				
源泉所得税		59,758		
社会保険料		42,064		
その他預り金		23,932		
	流動負債合計		189,697	
	負債合計			189,697
Ⅲ 正味財産				10,600,676

令和6年度　年間役員名簿

令和6年　4月　1日　から　令和7年　3月31日　まで

特定非営利活動法人OWS

	役名	氏名	[redacted]	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事	横山耕作		令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日
2	理事	高砂淳二		令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日
3	理事	宮川貴子		令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日
4	理事	森紀子		令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日
5	理事	杉森雄幸		令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日
6	理事	池上喜代壱		令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日
7	監事	福田秀人		令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～令和　年　月　日

令和6年度　社員のうち10人以上の者の名簿

令和7年　3月31日　現在

特定非営利活動法人OWS

	氏名
1	横山耕作
2	高砂淳二
3	宮川貴子
4	森紀子
5	杉森雄幸
6	池上喜代壱
7	仲　祐介
8	小川修作
9	矢田誠
10	福田秀人